

終活の社会性

終活とはなにか



一般社団法人 終活協議会
思いコーポレーショングループ

- 01. なぜ今、終活が必要なのか
- 02. 終活が必要とされる社会背景
- 03. 終活をしないと起こりやすい問題
- 04. 終活は、今をよく生きるための準備



01. なぜ今、終活が必要なのか

終活とは、人生の最期を迎える準備を通じて、
これからの人生と、残される人を守るための活動です。

終活は、亡くなる直前に行うものではありません。

また、高齢者だけのものでもありません。

社会の変化により、終活は誰にとっても必要な「人生設計の一部」になっています。

02. 終活が必要とされる社会背景

日本では、少子高齢化と人口減少が同時に進んでいます。

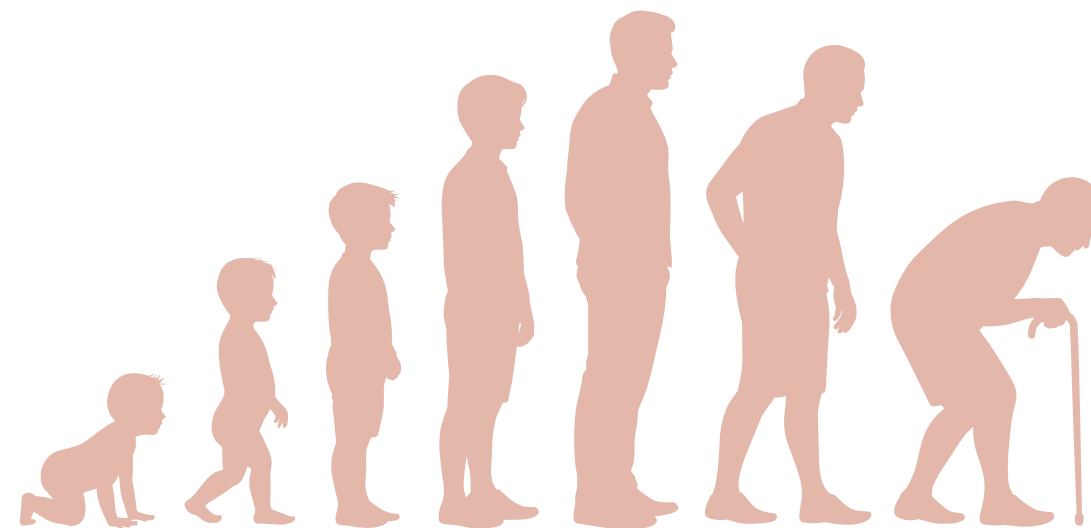
かつては、大家族や地域のつながりによって、

老後や最期を支え合うことができました。

しかし現在は、一人暮らしや子どもがいない家庭も増え、

老後や最期を「家族任せ」にできない時代になっています。

こうした社会構造の変化が、終活を必要とする大きな理由です。



03. 終活をしないと起こりやすい問題

終活をしていない場合、次のような問題が起こることがあります。

- ・ 医療や介護の希望が分からない
- ・ 認知症になった際の対応が決まっていない
- ・ 財産管理ができなくなる
- ・ 相続を巡る家族トラブル
- ・ 葬儀や供養で家族が困る
- ・ デジタル情報が分からず手続きが進まない

これらの多くは、元気なうちに考えておけば防げる問題です。



04. 終活は、今をよく生きる為の準備

終活という言葉から、

「死を意識する活動」と思われがちです。

しかし実際の終活は、**今をどう生きるかを考える行為**です。

「どんな暮らしを続けたいのか」

「誰との関係を大切にしたいのか」「何を残し、何を手放すのか」

終活を知ることで、不安が減り、

安心してこれからの人生を送ることができます。



Thank you!

ありがとうございました！



全国に終活の輪を広げる
社会貢献活動を目指しています

